



小学生の下校時の見守り活動

大崎町シルバー人材センターでは、子どもたちが交通事故や犯罪に巻き込まれることを少しでも減らしたいという願いを込めて、地域貢献の一環として役員の方々を中心に小学校の児童が下校する時の見守り活動を実施しています。

シルバー人材センター役員の方々は、「子どもたちが安全に下校ができるように、今後も活動を続けていきたい」と話されました。



奉仕活動で手作りベンチを寄贈！

(株)有馬工務店と有栄会に所属する24社から計36名が参加し、制作をおこなったベンチ10脚を町へ寄贈しました。寄贈いただいたベンチについては、公園や保育園、小学校に設置をおこないました。有馬工務店の新城正明社長は「このベンチ造りは、25年位の歴史があり、町内のいたるところで見かけるようになりました。多くの方々に利用されることは大変ありがたく、今後もこの活動を通して、地域貢献できればと思います。」と話され、参加者と制作に取り掛かっていました。



3年連続

「スポまち！優良自治体表彰2025」受賞

11月18日(火)、スポーツ庁「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰2025が開催され、本町が3年連続となる「優良自治体」に選定され表彰されました。この表彰制度は、スポーツを活用した「地方創生」「まちづくり」に積極的に取り組む自治体のアイデアを表彰しているものです。本町では、町民の健康づくりのきっかけや観光・合宿者には町をめぐる交流のきっかけを提供し、町民・観光客・合宿者が自然に交わり、日常と非日常をつなぐ体験を生み出す「歩く・動く・巡る ロゲイニングでつながるまち大崎町～スポーツで生む地域の健康と交流～」を(一社)スポーツ観光おおさきを中心に推進していきます。



男女共同参画推進事業

「第2回おおさきアリ会議」開催！

11月16日(日)、マルおおさきで「第2回 おおさきアリ会議」が開催されました。「学校・教育」をテーマに、隈崎和代氏(認定こども園南部幼稚園副園長)と坂口晃大氏(大崎町ラグビーフットボール協会会長)から話題提供があり、参加者は、ジェンダー平等やダイバーシティの視点で「暮らしたい」と思える大崎町について意見を交わしました。次回は、令和8年2月8日(日)に「地域コミュニティ」をテーマとして、おおさきアリ会議を開催いたします。地域コミュニティの在り方について考える場となる予定ですので、ぜひご参加ください。